

国内各地の野鳥などで高病原性鳥インフルエンザが確認されています！

韓国において野鳥や14か所の家きん飼養農場で高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N6亜型）が検出されています。
 また、国内各地の野鳥、飼育鳥などで同じH5N6亜型のウイルスが検出されており、家きん飼養農場での本病発生リスクは極めて高い状態です。

◆国内における野鳥等での検査状況

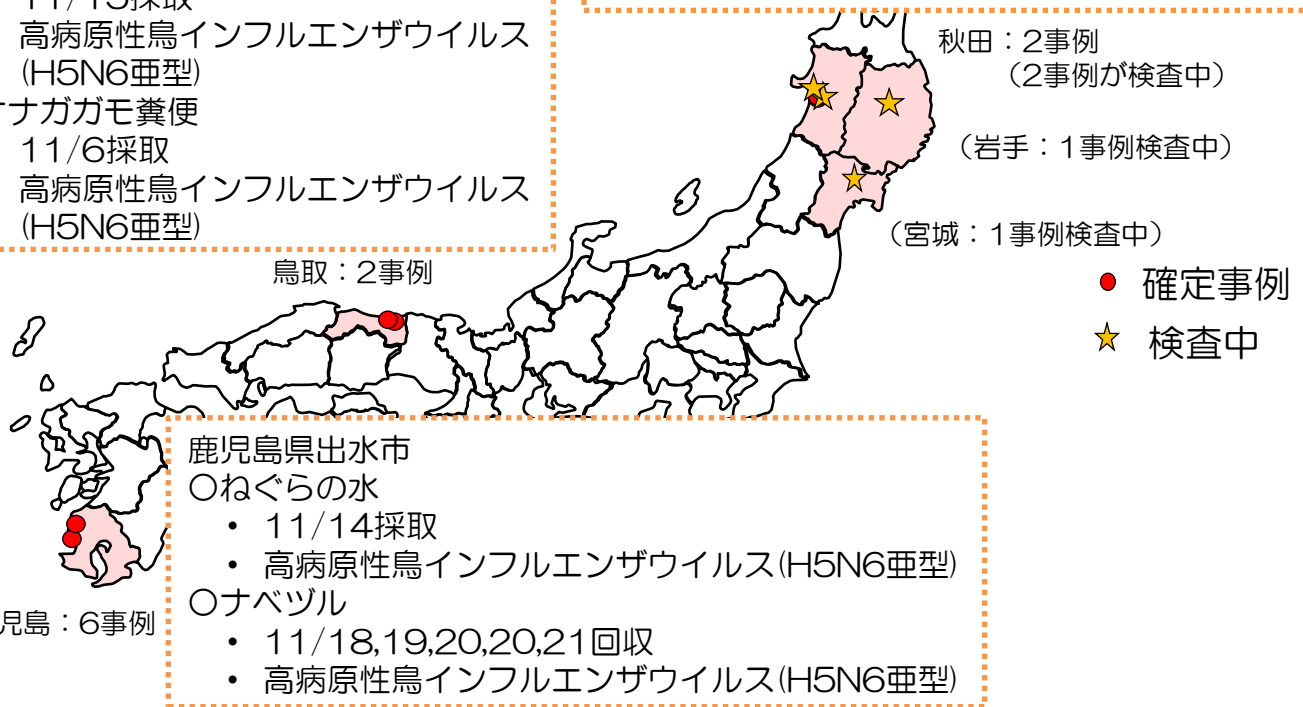
11月24日18時時点

鳥取県鳥取市
 ○コガモ糞便
 ・ 11/15採取
 ・ 高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N6亜型）
 ○オナガガモ糞便
 ・ 11/6採取
 ・ 高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N6亜型）

秋田県秋田市 ○コクチョウ、シロフクロウ
 ・ 11/15,17,17,23回収
 ・ 2事例が高病原性鳥インフルエンザ確定
 ・ 2事例が検査中

岩手県盛岡市 ○オオハクチョウ
 ・ 11/23回収、検査中

宮城県登米市 ○マガン
 ・ 11/21回収、検査中



鶏、あひるなど家きん飼養者の皆様におかれましては、正確な情報の把握と本病の予防対策並びに早期発見・早期通報をよろしくお願いいたします。